

平成28年度 第6回美郷町教育委員会議事録

日 時 平成28年9月26日(月)
16時15分～16時45分
場 所 高知県長岡郡大豊町立川

<出席者> 田邊委員長、竹下委員、日高委員、西原委員、教育長、教育課長

<議 題> (1) 部活動を理由とした区域外就学について
【内規のとおり、希望する部活動が指定学校にある場合は許可しない】

○教育課長 それでは第6回美郷町教育委員会をはじめさせていただきます。
委員長ご挨拶をお願いします。

○田邊委員長 本日は視察研修の合間であたらしい日程ですが、よろしくお願
いいたします。それでは、教育長から諸報告をお願いします。

○教育長 時間もありませんので、1ページ目の日程につきましては省略さ
せていただきます。めくっていただいて、平成29年度の高校進学
希望一覧です。9月8日現在、第一次の取りまとめになります。邑
智中は今年は中央が多いですね。あとは大田、大社、出雲農林ほか。
大和中は大田、飯南、松江高専、出雲です。これは第一次の締め切
りですので、最終は1月の頭くらいになります。三者面談をして、
学力を見て決めます。しかし、あまり動かないですね。

○田邊委員長 大田が多いですね。

○教育長 平成21年度からこの表はつけていますので、参考にご覧いただ
きたいと思います。
次に、今後の子どもの数の推移を載せています。この調査は5月
1日付けになります。表の一番左が平成17年、10年後の平成2
7年が次ぎにあって、その差が書いてあります。④はこれからの予
定です。トータルで16名増えます。右に差引を記載しています。
⑦ですが、今邑智小学校が多いので邑智中学校が増えてきますが、
その時期、邑智小学校は減っていきます。
どこも子どもの数が減っていますが、子どもの数の減少率はうち
が一番少ないです。これはあくまでも今の予定です。邑智小学校が
増えてきたのは、やはり若者定住住宅の影響だと思います。合併し
て10年間で16%減というのは、島根県の中でも良い数字です。

最後に「教育魅力化推進事業（仮称）」についてです。これまで県の方針で離島等の高校魅力化事業ということで予算をつけて進めてこられましたが、これを来年度から保育所・小学校・中学校から一緒に町を挙げて魅力化事業に取り組んでいこうということです。

参加者は教育課の課長、地域振興部の課長、うちは定住推進課の課長になりますが、一緒に教育魅力化を図っていくと。

次に資料が何枚かありますが、事業のイメージです。コーディネーターを配置して、子どもたちに本当の魅力化を進めていく。最終的には地域づくり・人づくりに結び付けていくということです。

次の支援スキームは、過疎債のソフト交付金を使って保育園からの教育の魅力化を図っていくということで、手を挙げるところからやっていってもらいたいということです。

うちは学校の方は ICT をこの過疎ソフトを使って、1年生から3年生までタブレットを入れたいと思っています。それから、ICT 支援員もこれでいきたいと思っています。それから社会教育の方はふるさと教育を進めていきたいと思っています。

その計画の案を指導主事、社会教育主事にお願いしていきまして、うちは真っ先に手を挙げていきたいと考えています。

これは地方創生に絡んでの事業ですので、その後は地方創生の資料が付いています。説明会は10月14日に大田市であります、5～6人は出席する予定です。

○田邊委員長 関係するいろいろなところが連携することは大切ですね。どんどんやったほうがいいと思います。また、そういった情報も公民館などにも流していただきたいですね。

○教育長 小さな拠点づくりも教育の魅力化も社会教育のほうメインを持ってやっていったほうがいいと思っています。これまで地域振興部局と連携がうまくいってなかったの。一緒にやらないといけなわけですから、こちらから仕向けていきたいと考えています。ふるさと教育をしっかりやって、地域振興につなげていかないとけません。

○田邊委員長 コーディネートする人が重要ですね。そうしないとばらばらになりますから。

○教育長 そうですね。

○西原委員 大田市では看護師を招いて地域医療の話をしてもらったりしています。地域に戻っても何をやったらいいのか分からないでは困り

ます。

○教育長 大和ではそういったこともしていました。
医師、看護師は地域枠推薦があり、何人か行っています。教育の
魅力化も小さな拠点もしっかりやっていかないとはいけません。私か
らは以上です。

○田邊委員長 ありがとうございました。
それでは、議題に入ります。本日の会議録署名委員の指名は日高
委員さんと西原委員さんをお願いします。会期の決定ですが、本日
1日ということをお願いいたします。前回の会議の議事録でござい
ますが、よろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○田邊委員長 では、議題は一つですね。課長からお願いします。

○教育課長 部活動を理由とした区域外就学については、3枚目につけており
ます内規のように、希望する部活動が就学予定の学校にない場合に
許可しておりますが、今回ご相談がありましたのは、中学校に部活
があっても大田市の中学校に行きたいという要望です。
部活動は具体的にはバレー部です。前回の教育委員会でも説明さ
せていただきましたが、今日はそれについて教育委員会としての見
解を出していただきたいと思いますと思っております。

(個人情報につき、省略)

○竹下委員 大田の中学校はバレーが強いのですか？

○教育長 邑智中学校の松村教諭は島根県の中学校バレー代表のコーチを
しています。指導者はよいのですが、生徒の人数が少ないです。

○教育課長 今のメンバーではなく、やる気のある子どもたちの中でしっか
りやらせたいという思いがあるそうです。

○田邊委員長 しかし原則は守らないと、なし崩しになってはいけないと思いま
す。

○教育長 飯南町、奥出雲町は部活を目的とした区域外就学そのものを認め
ていません。うちは希望する部活動が校区の学校にない場合に認め

ていますが、許可基準や原則は守りたいと考えます。今回の件も基準どおりでよろしいでしょうか。

○委員一同 はい。

○田邊委員長 子どものことですから何とかしてやりたいとは思いますが、世の中はルールや制度で成り立っていることも理解してもらわなくてはいけないと思います。

他に何かありますか？ないようでしたら、以上で第6回教育委員会を終わります。